

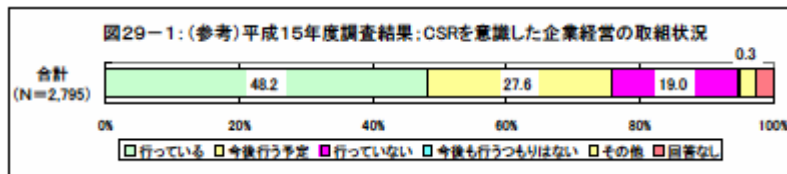
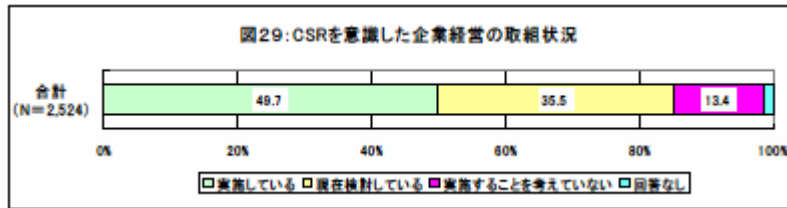
企業の社会的責任（CSR）に対する意識の高まり

1 環境省「環境にやさしい企業行動調査 平成16年度調査結果」

（平成17年9月）

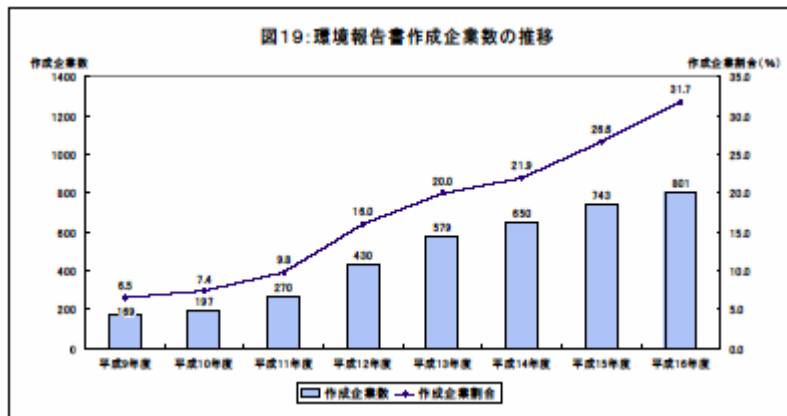
（1）CSRを意識した企業経営

CSRを意識した企業経営については、半数近い企業が既に取り組んでおり、関心が高い。



（2）環境報告書を作成している企業数の推移

環境報告書の作成・公表の状況については、「作成・公表している」と回答した企業等が31.7%、801社あり、平成15年度に比べ5.1ポイント、58社増加しており、経年的に見ても増加傾向にある。



2 日本経団連「企業の社会的責任（CSR）推進にあたっての基本的考え方」
（抄）（平成16年2月）

1 日本経団連はCSRの推進に積極的に取り組む

近年、経済のグローバル化、情報化、消費者意識の変化等に伴い、企業の社会的責任（CSR）をより広い視野から捉えなおすことが重要であるとの認識が高まり、国際的にCSRのあり方が議論されている。CSRの具体的な内容については国、地域によって考えが異なり、国際的な定義はないが、一般的には、企業活動において経済、環境、社会の側面を総合的に捉え、競争力の源泉とし、企業価値の向上につなげるものとされている。日本経団連は、かねてより企業の社会的責任を重要な課題と位置付け積極的に推進してきたが、このような新たな意味合いのCSRについても積極的に取り組む。